

# 労働災害が大幅増加

しています

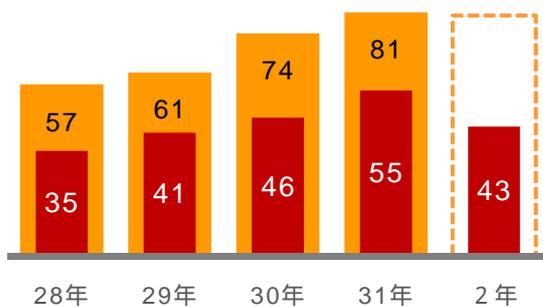
令和2年10月 一宮労働基準監督署

## 1 労働災害が増加傾向です！！

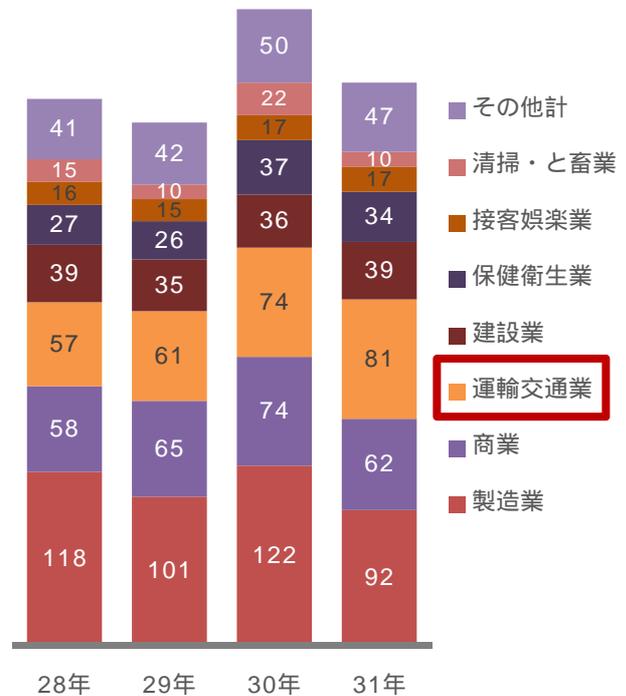
一宮労働基準監督署管内で、令和2年9月末までに報告のあった、運輸交通業における休業4日以上の労働災害の件数は43件です。

一宮労働基準監督署管内の運輸交通業においては、平成30年より労働災害の大幅な増加傾向が見られており、今後の増加も危惧されるところです。

また、運輸交通業の労働災害は、管内の全産業の労働災害の約2割を占める状況が続いています。



一宮労働基準監督署・運輸交通業の労働災害の件数推移  
(オレンジは年間総件数、赤色は9月末件数を表す)



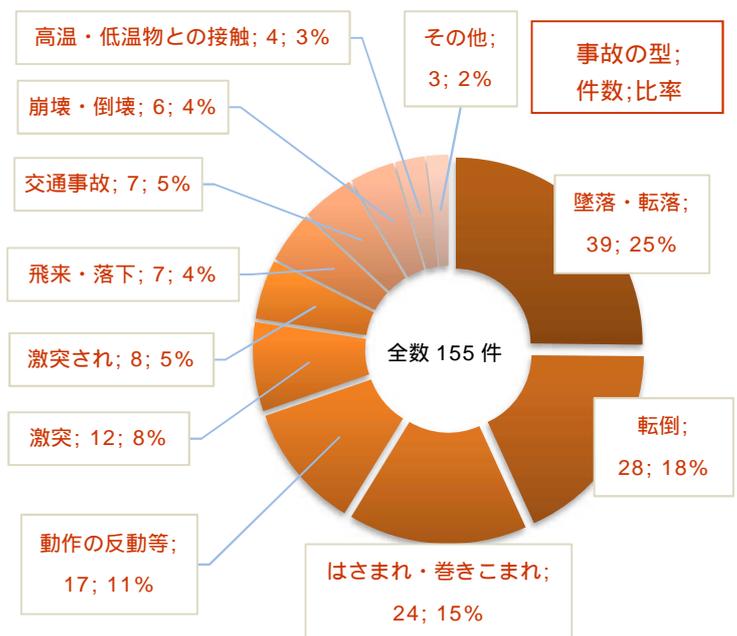
一宮労働基準監督署・全産業の労働災害発生件数  
(平成28～31年比較)

## 2 運輸交通業の労働災害発生状況 (事故の型別に見る傾向)

平成30・31年の一宮労働基準監督署管内の運輸交通業の労働災害を事故の型別に見ると、墜落・転落災害が最も多く、全体の25%を占めています。

令和2年についても、墜落・転落災害は多く発生しており、9月末時点で19件となっています。

墜落・転落災害以外の災害については、転倒28件、はさまれ・巻きこまれ24件、動作の反動等17件、激突12件、激突され8件、飛来・落下7件、交通事故7件の順に多く、令和2年においては、激突5件、飛来・落下5件、転倒4件、激突され4件、動作の反動等3件の順に多く発生しています。

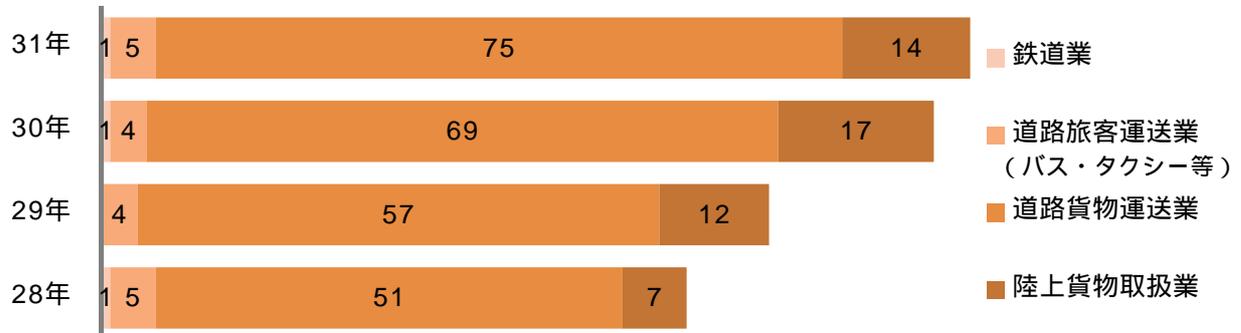


一宮労働基準監督署・運輸交通業の労働災害発生状況  
(平成30・31年 事故の型別)

### 3

## 業種別の労働災害の発生状況

一宮労働基準監督署管内の運輸交通業の労働災害について、業種ごとに分類すると以下のとおりです。道路貨物運送業が、運輸交通業の労働災害のほぼ9割を占める状況となっています。また、道路貨物運送業に陸上貨物取扱業を加えた陸上貨物運送事業全体では、さらに件数が多くなっています。



一宮労働基準監督署・運輸交通業及び陸上貨物取扱業の業種別労働災害発生状況  
(平成28～31年比較・グラフ内の数字は件数を示す)

### 4

## 多発傾向の労働災害の概要と対策

一宮労働基準監督署管内の運輸交通業・陸上貨物取扱業の労働災害について、業種別ごとに多発傾向にある事故の型別に災害の概要等をまとめると、以下のとおりです。

### 道路旅客運送業

**転倒**が最も多く、事業内、客先、通路、道路等において発生しています。

次いで、**交通事故**が多く発生しており、交差点内での衝突、後続車からの追突などが見られます。

### 道路貨物運送業

荷の積み込み・積下し中の**トラック荷台からの墜落・転落**が最も多く、全体の**4割以上**を占めています。

荷台上の水等で足が滑る、荷・荷台等に躓く、ステップ等を踏み外す、が墜落・転落の主な原因となっています。また、荷台等からの降車時にも多く発生しています。

荷の積み込み・積下し中においては、**荷・トラック・機械への激突**、他者が運転する**フォークリフトに激突される**、積み込み・積下し中の**荷等の飛来・落下**といった災害も多く見られます。その他、**荷台、プラットホーム等での転倒**、**荷・トラック(あおり等)へのはさまれ・巻きこまれ**、不自然な体勢等による**無理な動作・動作の反動等**といった災害が見られます。

### 陸上貨物取扱業

積み込み・積下し中の**倉庫内等での転倒**、**プラットホーム等の段差からの墜落**が多く、道路貨物運送業と同じ傾向が見られます。

#### 災害防止対策として、以下のような事に取り組みましょう

- \* 交通安全情報マップを作成する(交通事情の変動等により必要に応じ見直しを行う)
- \* 安全な昇降設備を取り付ける、または昇降ステップ等を備え付け、使用を徹底させる
- \* 荷台上の整理整頓に努める、荷台上の水等を拭いておく、荷台の端を歩行しない
- \* 荷が倒壊しないよう、安全な積み込み・積下しの作業手順を定め、実行する
- \* 複数人で行う作業については、作業員同士の連絡調整を十分に行う